

発行日 2010年1月4日  
編集責任 さいたま市議会議員 土井裕之

tel 048-886-2858  
fax 048-873-3446

E-mail doi@doih.net  
HP http://doih.net

FROM EDITOR

毎年恒例としている初日の出の日帰り旅行。今年は北茨城のとある海岸にて、素晴らしい御来光に預かりました。その後、一言主神社に立ち寄り、初詣を済ませました。新年を迎え、ずれ込んだ大掃除もひと段落し、新たな気持ちに切り替えてスタートを切ったところです。



## 2月議会は2月9日から

通常の議案審議に加えて予算審議が行なわれる2月議会は、2月9日から開会です。3月中旬までの会期となります。早速その準備のための調査を始めています。

お困りごとや、ご提案・ご意見がありましたら、気兼ねなくご連絡ください。

FAX 048-873-3446

E-mail doi@doih.net

### 編集責任

さいたま市議会議員

**土井裕之**



所属会派：民主党・無所属の会さいたま市議団  
所属委員会：市民生活常任委員会（委員長）  
議会運営委員会（理事）・決算特別委員会  
見沼田圃将来ビジョン特別委員会

profile: 1971年、旧浦和生まれ。川口北高校卒業。1999年より浦和市議を2年勤め、3市合併の際、辞職。2003年・2007年さいたま市議に当選。2008年、明治大学公共政策大学院卒業。無所属で活動中。



## 新市長の初めての予算案に注目 2010年市政展望

昨年のもっとも大きな出来事は、何と云っても市長の交代。120万人都市の市長選挙ですから、市外からも注目されました。長年続いてきた相川前市長やその周囲に連なる既得権益の解消を念頭に、私も清水市長の擁立に当初の段階から関わり、市長選挙も自分のことのように取組み、多くの市民の期待の票を集める結果となりました。6月、9月、12月と3回の議会はいずれも、混乱をきたしましたが、市長の交代による議会の活性化とも、受け止めることができるでしょう。市長も議員出身だけあって、落ち着いて対応しているよ

うです。今年の2月議会では、清水市長初の予算案が議会に提案されます。未曾有の経済状況から、現時点でも約500億円の減収が見込まれるといわれています。新市長が直属に設置した行革推進本部が、さっそく役割を果たすのではないのでしょうか。私は、いくら市長を応援したからといって、馴れ合うつもりはありません。議員としての本来の役割を念頭において、是々非々で対応していきます。あくまで市民に立脚するのが議員の役割だからです。今年も、流れは大きく変わっていくでしょうし、変えていきます！



## さいたま市で事業仕分けを 今年の決意

### ■機能する議会へ

議会では議会基本条例が成立。これまでの市長と議会との馴れ合いの構図は一変しました。市長との緊張感ある立場で、市民からの信頼を向上できるよう、その牽引力となります。

### ■事業仕分けの実施

政策プロセスを公開し、国民的支持を集めた「事業仕分け」。私は、さいたま市での実施を目指しています。昨年4月には議会内の行財政改革推進特別委員会で、研修の一環で実施しました。今年は公式な実施を目指して活動していきます。聖域を設けない「本筋の行政改革」への取り組みが私の一丁目一番地です。

### ■議員による政策条例の提案

議会の忘れていた権限といわれているのが、条例の提案権の行使。市長（行政）の追認か、監視の役割が、議会の主な役割でした。議会発の政策立案とその成立を視野に入れて、提案を目指します。

### ■市民生活委員会の運営

委員長を務めている市民生活委員会では、通常の審議に加え、「盆栽美術館」開館（3月末）の前に、徹底調査をし、昨年の枯死事件のようなことが起きないように総点検を行なう予定です。また、年間を通じて調査している「消費者行政」については、貧困に関係の深い多重債務問題の調査などを積み重ね、6月までには議会で報告する予定です。

### ■その他の各種取組み

- 虐待など子どもの理不尽の解消
- （とくに若者の）雇用の確保
- 危機管理体制のチェック
- コミュニティビジネスなど  
民間の公的分野への参入の後押し
- 介護・医療の充実
- 大谷口・太田窪区画整理に関する取組み
- 武蔵浦和駅周辺の開発への  
周辺住民への対応
- 南区内の運動施設の設置  
などの取組みを行なっていきます。